



令和5年度 学校だより 8.9月号

なかお



第448号

令和5年8月28日

発行者 横浜市立中尾小学校

校長 廣瀬 ユミ

<https://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/nakao/>

振り返り

校長 廣瀬 ユミ

長い夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。子どもたちにとって自分中心の生活から集団生活に戻すことはとても大変なことだとは思いますが、早く学校生活に慣れるよう保護者の方々からのお子様への声かけ、また地域の方々のご協力をよろしくお願いいたします。

夏休み中、猛暑や災害など今まで経験したことのないようなことが頻繁に起こり、この現実を受け入れつつも、何か自分にできることはないだろうかと思改め考えさせられる機会となりました。

中尾小では9月1日に総合防災訓練が行われます。この日に行う理由は、1923年9月1日午前11時58分に関東大震災が起こり、多くの方々の命が一瞬にして奪われたことを風化させてはいけないということと同時に、その経験を通して得た教訓を大切にしていこうという思いが盛り込まれています。

生まれた時からずっと横浜に暮らしている私は小さい頃から、毎年大震災の時の様子が映し出されるビデオを学校で何度も見て育ってきました。また、実際に大地震を経験した祖父母からその時の恐怖を聞かされてきました。耳をふさぎたくなるような生々しい話もありましたが、祖父母は「しっかり聞きなさい。これからの自分の生き方に関わることだからね。」と言って最後まで真剣に私のために語ってくれました。話の最後はいつも同じで、「人間、自分の身にいつ何が降りかかってくるかわからない。だから、一日一日を精いっぱい生きること、そして、平和でいられることにいつも感謝することを忘れないで生活を送るんだよ。」という言葉でした。そして、「平和は、それまでの先人の方々の努力があつてのこと。先人の恩恵を被って生きているのだから、あなたは次の世代のために自分に何ができるかしっかり考えていきなさい。無責任なことをすれば、次の世代に必ずそのしわ寄せがくるんだよ。」という話もしていました。毎年9月1日になると、この話を思い出し、いつしか私にとってこの日は自分の生き方について振り返る日となりました。

振り返ることは自分の今を知ること、これから頑張ることは何かを見極めることのできるとても大事なことです。前期も終盤となり、子どもたちにとっては振り返りの時期を迎えます。

本校は今まで「なかおっこ」を通して、お子様の学習や行動、生活の様子や振り返り、目標や課題などについて、前期と後期に分けて、評価と記述で保護者の皆様にお伝えしてきました。しかし、前期はお子様の思いや考え、様子などを担任と保護者と対話する中で一つひとつ確認し共有することが大切であり、成長の途中よりも一年間を通して学んだことや成長したこと、さらに成長するための課題を記述する方が、より子どもの学ぶ意欲につながるのではないかと考えました。

そこで、前期の学習面、生活面、行動面、特別活動における内容については、横浜市小中学校で活用している1年生から中学3年生までの成長の記録「自分づくりパスポート」に書かれている内容を保護者の方にご覧になっていただき、前期の「なかおっこ」は評価のみとすることとしました。また、後期の「なかおっこ」では一年間のよさやのび、課題について評価と記述でお伝えいたします。つきましては、次回の懇談会にて詳しくご説明したいと考えております。ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。